

第44回日退教定期総会 参加報告

会長 長井 玄龍

2015年6月9日(火) 11:00～ 日本教育会館（東京）

年に一度のこの総会に行く機会があったりしますが、巨大地震に遭わないか、どうしてこんな大きな飛行機が飛びあがるのかなどと不安に思い、無事帰ってくると、ほっとします。

日退教は61単会、約5.5万人の会員を擁する、日教組の退職者の会です。総会代議員は100人で、日教組の大会に比べると、右翼の宣伝カーは来ないし地味なものです。

I 西澤会長（東京高）あいさつ要旨



① 安倍政権の政治姿勢を痛烈に批判。戦争にひた走

り、米国の属国化を進めている。

- ② 下位法律で上位憲法をなし崩しにしようとしている
- ③ 沖縄に日本の全ての課題が集約される。人的支援や、物的支援の強化を各単会とりくんで欲しい。日退教も月1回の辺野古新基地建設反対に参加する。沖縄からの報告の機会を各単会設けて欲しい。辺野古基金などカンパ活動に協力して欲しい
- ④ 沖縄の問題を解決することが、日本の平和につながる。

II 竹田事務局長（神奈川高）報告

年金・医療・介護など国会対応などを踏まえて、しっかり報告されたと思うが、何せ聞いている私が無知で理解が及ばない。なぜ、こんなに訳が分からぬのかと頭を抱えつつ聞き入るばかりでした。

III 質疑討論

6単会から発言がありました。

① 沖縄退教より 日退教、各単会のこれまでの物心両面の支援に感謝します。

辺野古新基地建設ゲート前の早朝からの闘いは339日に至っています。警察や海保の排除・妨害行為は県民・国民を侮辱し、米国に奉仕するものだ。これからも厳しい闘いが続くが頑張りたい。引き続き日退教会員の支援をお願いしたい。

② 北海道退教より 各単会のカンパに感謝。

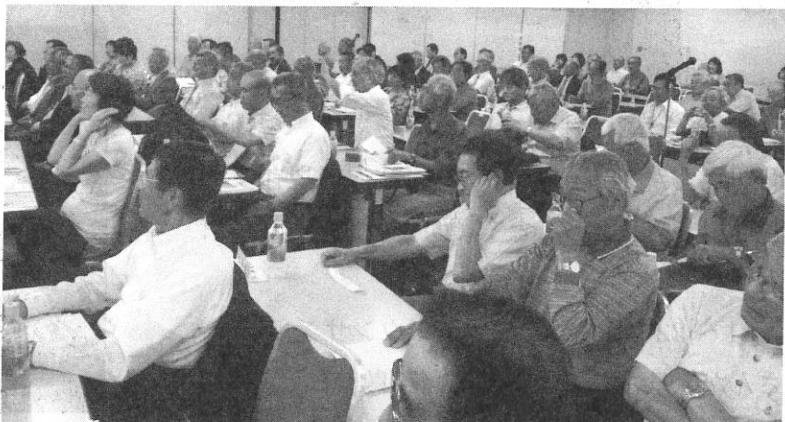
戒告処分が人事委員会で取り消された。闘いは勝利した（北教組への勤務時間中に組合活動をしたということでの懲戒処分）。勤務時間中の組合活動を密告する制度ができたが、まだ一件も報告されていない。

IV 予算・決算

福岡退教より カンパ会計について。単会、会員数に比して金額が少ないのでないか、との意見がありました。

この件については、鹿高退教も耳の痛いところです。東日本大震災のカンパ以来とりくんでいません。この間、北海道・沖縄へのカンパが日退教から依頼されていましたが、とりくんでいませんでした。反省です。

厳しい闘いへの反撃は資金もかかるのであり、協力したいと思いますので、今後カンパの集約を工夫したいと思いました。



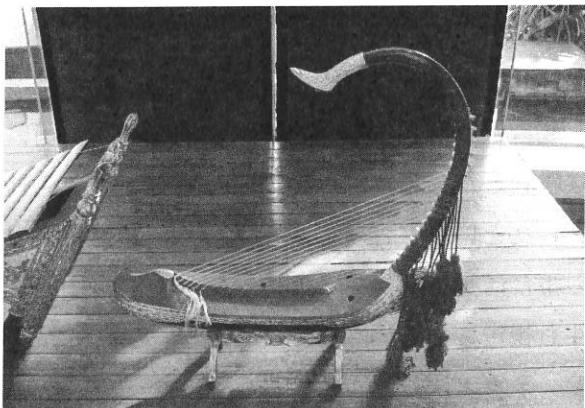
戦病死した父の足跡を追って

(ミャンマー旅行とインパール作戦)

栗屋 三郎 (姶良市)

1. ミャンマー(ビルマ)旅行での出会い

2013年9月、鹿児島発着のミャンマー旅行の募集があり、現職時代の同僚からの誘いで、三家族が参加した。旅行団にはビルマでの戦争体験者の家族が数組あった。



18日マンダレー着。日本車が多い。宿舎で「ビルマの豊饒」による演奏を聞く。(写真:上)

19日バガンのレストランで食事中、父のこと話をしていたら、隣の村田さんが「実家の父はインパール作戦の生き残りで今も宮崎で元気に暮らしています。」との話で「ぜひお会いしたいです。」と申し出た。



20日バaganの日本人慰霊堂を参拝。現地のお坊さんが16歳のときから80歳の現在まで管理しているとのことで頭がさがった。(写真:上)

21～22日ヤンゴン観光。ウンサン・スチーさんが軟禁されていた邸宅(写真:右上)は有

刺鉄線が張り巡らされ、門にはミャンマー建国の父ウンサン将軍の写真が飾られていた。23日帰国した。



2. インパール作戦退却支援

父の略歴は以下の通りです。

昭和2年3月松城尋常高等小学校高等科卒業後、九州配電(現九州電力)に入社。昭和16年7月熊本第13連隊補充隊応召、独立有線第78中隊編入。8月満州国吉林省琿春駐屯隊配属。昭和19年3月第3軍司令部から電通第27連隊に転属。6月独立有線第110中隊に編入。満州の間島出発。8月シンガポール上陸。10月ラシオ到着。

第33軍断作戦(イギリス軍と中国軍物資援助ルートを遮断しようとする作戦)に第1期か



ら 3 期までと昭和 20 年 2 月シボ一付近で遮断作戦 4 期参加。

(隊員 310 名中、戦傷死 10 + 戦病死 3 + 行方不明 1)

4 月克作戦(ビルマからタイに撤退する作戦)第 1 期から 2 期まで参加。ケマーピュー～チエンマイ間電話敷設作業。8 月チエンマイ～ライパン間通信実施中マラリアに罹り野戦病院に収容される。13 日タイ国メーホンソンで戦病死。享年 35 歳。(写真前ページ右下：チエンマイ付近で飢えと病気と闘いながら退却する日本軍)

(21 年 5 月までに隊員 296 名中、戦傷死 2 + 戦病死 97 + 行方不明 4 。後方支援ため戦傷死は少ないが、戦病死が多いのは食糧不足による餓死とマラリアによる。) (父の資料は鹿児島県庁と靖国神社付属図書館提供)



(写真上；父・栗屋操)

3. 留守家族

昭和 16 年父が応召時は、祖父、母、私（2 歳）の 3 人家族。妹は 17 年生まれ。

昭和 19 年満州からビルマに向かうとき写真・手紙等は全て加治木の自宅に返送。

昭和 20 年 4 月叔母（父の妹）が鹿児島市の空襲で死亡。7 月妹は赤痢に罹り死亡。

昭和 21 年 2 月役場の職員の来訪により父の

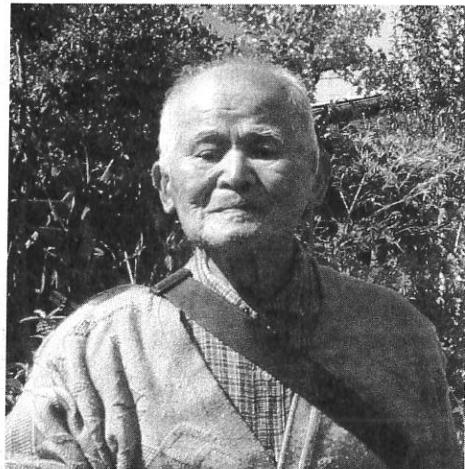
戦病死を知る。6 月伊敷練兵所跡で遺骨を受け取り告別式。遺骨は焼いて炭になった中指を幾重にも巻いたガーゼの袋に入れてあり、印鑑と郵便局の預金通帳も入れてあった。母はその印鑑をずっと使っていたが、今は家内が持っている。

平成 6 年 5 月、母は父の 50 年祭（満で 49 年目）を執り行い、自分の務めを果たしたかのように、その年の 12 月に 82 歳で死亡した。

4. 市吉様宅を訪問

2013

年 10 月
宮崎市の
市吉様を
訪問し
た。市吉
ご夫妻と
帰省中の
修様、隣
にお住ま



いの村田様に出迎えていただいた。97 歳という高齢にも関わらず記憶の正確さには敬服した。戦争体験談は戦争の厳しさ・悲惨さが伝わってきた。話はあたかも父からの伝言のようにも聞こえた。「長生きして死んだ戦友に申し訳ない」と言わされたが、今までお元気でおられたからこそ、貴重な話を聞くことが出来て感謝している。

これから日本の教育が大事と思い、子どもの教育には熱心で P T A 参観にはすべて市吉様が行かれたという。

2014 年の春に訪問した際、市吉様から、「私が育てたものです、お父様に供えてください。」と花束を頂いた。私にとっては何にも代えがたい贈り物だった。

帰宅してお礼の電話を入れると、村田さんの

ご主人が出られて「私の両親の仏壇に毎月焼香をしてもらい感謝しています。」と言われ、素晴らしい関係だと思った。

最近タイで、バンコックからチェンマイまで日本の技術によって新幹線鉄道が敷かれるという。技術屋だった父も喜んでいることだろう。

今年の8月で父の死後70年を迎える。私は76歳、父の倍以上生きたことになる。子どもや孫たちに、戦争の厳しさ・悲惨さ、平和の有り難さを伝えていくことが私の務めだと思ってる。

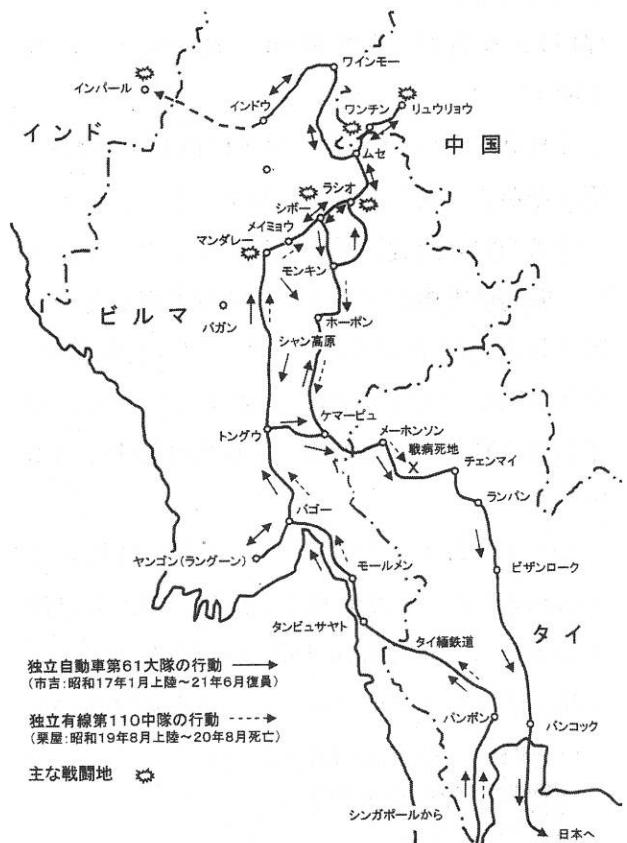
5. インパール作戦（市吉邦義様の話）

昭和6年都城市山田尋常高等小学校高等科卒業後日本製鉄勤務。



昭和13年朝鮮総督府巡査江原道金城警察署勤務。昭和16年9月充員召集により独立自動車61大隊入隊。12月釜山出港。昭和17年1月泰国シンゴラに上陸。マレー作戦でシンガポールを陥落させる。タイ国に向け出発。英軍捕虜を使って造った道路を、自動車隊としては一番初めにビルマに乗り入れる。サルウィイ河口～ラングーン～トングウ～山道を通って～モチ鉱山～サルウィイ河に出てシャン高原で野砲部隊を乗せる。ラシオで大きな戦争になり陥落させ、北に進んでムセで中隊は一時駐留する。中国国境のワンチンで攻撃を受ける。ワンチンからリュウリョウまで輸送し、帰りは鉛を積んで帰る。（写真前ページ右下：リュウリョウ付近で攻撃中の日本軍）

ビルマ・タイ行動図
(独立自動車第61大隊・独立有線第110中隊)



「ウ号作戦」（インパール作戦のこと。イギリスの植民地であったビルマを占領した。次はイギリスの植民地のインドへ攻め入る作戦であった。）で、インドウというところまで行きマラリアに罹ったのでトングウに戻り、ビルマ方面軍の特防班（マラリアを研究する軍医の多い部隊）に配属される。

負け戦争になり部隊はばらばらとなり、最後は数人になってトングウを出て北に向かう。このときマンダレーは陥落された。私は独りで昼間は山道を、夜は道路を歩いてホーポンの山を越え、シャン地方に行き部隊まで帰り着いた。最後は、私はトングウの民家に数ヶ月一人でいた。

インパール地方のマラリアは世界で一番悪性だそうで、私もマラリアで耳をやられて今でも補聴器を使っている。

学校は今（第3部 1）

今年3月に定年退職し、4月から再任用職員として出水高校で勤務しています。学校司書ですので、図書館から見た学校や生徒の様子、感じたことなどを書いてみたいと思います。

図書館は「第二の保健室」と呼ばれることがあります。学校図書館には「学校図書館法」(昭和28年制定、29年施行)に記された明確な目的があり、保健室的な役割を目指しているわけではありません。しかし多くの学校で、悩みを抱えた生徒がよく来館する傾向はあります。保健室に持ち込まれる一つほどの大問題ではないけれど、友人ができない、学級にいるのが面白くない、先生とうまくいかない、家庭の問題で悩んでいる等の理由が多いようです。図書館は全校生徒に開かれた場所で敷居が低く、誰でも気兼ねなく入れる雰囲気があるせいでしょうか。

どこの高校でも学級に入れない事情を持った生徒はいるもので、そういう生徒を預かることもあります。前任校でも、保健室から連絡が来て、授業時間に1~2時間預かることが度々ありました。学校によっては朝から1日中、しかも長期間預かった経験のある司書もいて、この場合は、さすがに保健室や学校の対応に疑問を感じました。

本校でも、学級での人間関係がうまく作れない生徒が毎日来館しています。先日は、文化祭前の準備でクラスメイトの対応が気に入らず、不満一杯でやってきました。そして昼休み時間に私に向かってさんざんおしゃべりして、気持ちが少し落ち着いたのか、教室に帰っていました。そんなことが数回続き、「クラスメイトはいじわるで私に不利なことばかりする」と言わんばかりです。この生徒は、学級であまり心を開いていないようです。しかし傷つくのが怖いため、自分の意見を言うこともできず、「自

「友人がいたら」

出水高校分会 中島 洋子

分は正しいのに何でわかってくれないんだろう」と不満を持っていました。

そこで、「そんなに不満があるのなら自分の意見をちゃんと言ってみたらどう?」「学級の皆はそんなに意地悪じゃないと思うよ」「あなたが発言しないから、あなたの考えていることが分からぬだけかも知れないね」とやんわり助言しました。その後うまく対応できたのか、数日後の文化祭では学級の皆と仲良く楽しそうに劇を演じていました。その姿を見て、ひとまずホッとしたのでした。

これで問題が解決したわけではありませんが、改善のきざしが少しだけ見えたのは嬉しいことです。傷つきやすい心を持った若者の、デリケートな人間関係の問題は、当人が少し変わると良くなっていく可能性があります。何より学校内に心を許せる友人が一人できたら、愚痴を言ったり、助言をしてもらったりして、いろいろな問題はかなり解決できそうです。

以前の勤務校でまさにそんな経験をしました。やはり教室で人間関係がうまくいかず、休み時間ごとに図書館に来る生徒がいました。時にはひどく激昂して、怒りまくることもありました。何とかなだめて教室に帰していましたが、図書館で好きな本を通じて、気の合う友人が一人できたのです。同じ学級だったのが幸いして、それからはかなり学校が楽しくなった様子でした。今度は二人揃って休み時間ごとに来館するのですが、楽しそうに二人で語らい、またクラスに帰ります。学校を休みがちだった相手の生徒も欠席しなくなり、何と成績が急上昇したのです。これは「友だち効果」だと確信しました。

こんなことを経験するにつれ、高校時代には友だち作りが何よりも大切なのではないかと思うのです。

「70年間の長い散歩仲間、 平鉄臣さんを送る」

同級生 橋野 裕明

平さん、5月10日の午後、友人からの電話で「8日に君が亡くなった」とこと、9日には内々で葬儀も済ませたことを知りました。力が抜けていきました。あなたという「ツッカイ棒」を失ったからです。4月23日は、「この前はごめん、今日は気分が良いよ、良い時に来てくれた」と言い、しかし、しばらくして、「オレも覚悟を決めたよ」と湿った声で呟きましたね。去年の10月からの治療計画もクリヤー出来てない上に、直近の抗がん剤治療を、「体力がついていけないからもう止めてほしい」と医師に告げたと言った時、涙声になりましたね。私は「治療を止める」という意味の深さを認識するのに少し時間がかかりました。やがてして、ホスピスに移ることの是非、病院の選択、手順、日程を連れ合いさんと語り始めた時、私が「帰

ろうか」と言ったら、「居て良いよ」と言ってくれましたね。2日して、今村病院の緩和病棟に移ったことを聴いたばかりでした。……速かったよ 平さん。

「平鉄臣先生絶筆」 いくとせ くみあいか 幾年も 歌い続けし 日教組組合歌

やまい 病の床で 涙して聴く

昨日（5月4日）、40日ぶりに自宅に帰った。これ以上体力が落ちないうちにという気持ちだった。

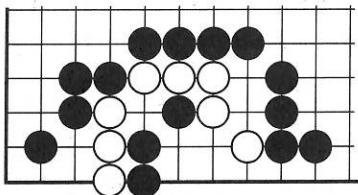
自宅ではじめにやったのが、組合歌のカセットさがしだった。病院（個室）にもどつて、はじめにやったのも組合歌をテープで流し歌うことだった。

しかし、声もかれて歌えなかつたが、その前に涙が出て歌えなかつた。

2015年5月5日 平 鉄臣

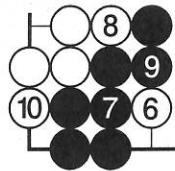
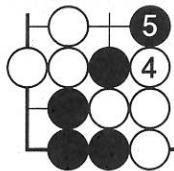
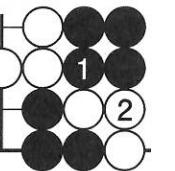
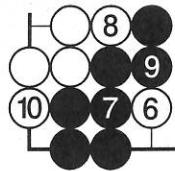
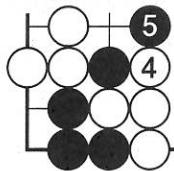
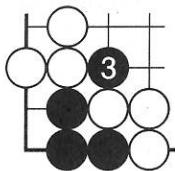
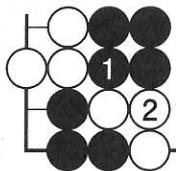
第4回 詰碁（黒先）

ヒント：白に抵抗の余地を
与えぬ手順で！



第3回 解答

1～10の手順が最強で
黒1目勝ちとなります



今後の日程

- 7月14日（火）「平鉄臣先生をしのぶ集い」 13:30～ 労働者福祉会館
8月15日（土）不戦を誓う日の集い
8月22日（土）現退交流囲碁大会 9:00 県教育会館2F
9月18日（金）不戦を誓う日の集い

編集後記

高退教通信7月号をお届けします。原稿をお寄せいただいた小原さん、県議初当選の向井さん、図師さん、お父様の戦争体験をまとめていただいた栗屋さん、シリーズ「学校は今」を報告いただいた中島さんに心から感謝申し上げます。今号は本年度の総会・懇親会、日退教総会の様子も掲載いたしました。▼長い間、高教組運動・護憲平和運動・共助会常務理事そして高退教事務局長として活躍された永田琢磨さん、本当にお疲れ様でした。（森）